

## 初めての臨地実習を経験して

### 生理機能検査部門の振り返りと今後の課題

◎大向 千恵子<sup>1)</sup>、後藤 千咲<sup>1)</sup>、杉永 友里恵<sup>1)</sup>、宮越 真弓<sup>1)</sup>、松永 佳緒里<sup>1)</sup>、米澤 文枝<sup>1)</sup>  
公益社団法人 石川勤労者医療協会 城北病院<sup>1)</sup>

【はじめに】『臨地実習ガイドライン 2021』では 2025 年度から生理学的検査の実習単位が、全実習 12 単位中 3 単位以上と増加し、専門知識の習得のみならず、接遇、患者説明、チーム医療など、患者による実践経験が重要視される。当院は、2023 年度から初めて北陸大学医療保健学部医療技術学科の学生 2 名を受け入れ臨地実習を行った。今回、臨地実習で取組んだ内容と、実習生のアンケート調査を基に、今後の臨地実習の課題についてまとめた。

【臨地実習内容】生理機能検査室での実習期間は全実習 30 日のうち約 10 日間とし、2 名同時に実習を行った。心電図検査や肺機能検査は、『臨地実習ガイドライン 2021』に基づき、可能な限り患者での実践を経験した。心臓超音波検査は実習生が交互に被検者となり指導技師と描出練習を行った。自習時間は国試の学習や、当院の心電図学習会で使用した心電図を判読してもらい解説などを行った。

【アンケート回答】アンケート調査によると、①一番興味があった検査「心臓超音波検査」「心電図」②患者と接しての感想「声かけや態度について学ぶ事ができた。」「検

査技師と患者との信頼関係を構築する必要があると感じた。」③実習を経験し自分に必要と思われた課題「検査の知識や技能」「患者対応」④この実習で得られた事「患者や先輩技師へのマナーや態度を学んだ。」「心電図波形について理解できた。」⑤今後の臨地実習に対する要望「自習時間の課題が欲しい。」「次の実習内容にあわせた予習課題があると理解が深まる。」などの回答であった。

【考察とまとめ】心電図、肺機能検査など実際に患者で実践を経験した事で、実習生が接遇や検査説明の為の知識と技能の不足を感じていた。この事より、さまざまな患者に対しての接遇指導、検査に関する説明の仕方など事前のレクチャーが必要と思われた。また、自習時間に実際の心電図記録の判読練習を行う事で、苦手意識の高い心電図の理解が深まったと思われる。今後は、より実習内容への理解を深めるために、自習時間を有効に活用できる問題集や、予習課題を提示する事も必要と思われた。今後も実習内容の見直しを行い、卒後の臨床現場で活躍できる人材育成の一助になりたい。連絡先：076-251-6111